



Kindergarten Information Development Society

東京都私立幼稚園連合会

編集発行人 北條泰雅 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館 TEL03(3262)3666・FAX03(3264)6195



11月10日、私学会館に都議会議員・ともとし春久副議長、山下太郎民主党幹事長、宮崎章自民党幹事長、木内良明公明党議員団長、並びに生活文化局・石井玲私学部長をお迎えして表記の大会を開催。全都から800名近い保護者が参加し、平成24年度予算の継続・拡充と満額実現をお願いしました。

月本喜久・都私幼P連会長、北條泰雅・都私幼連会長の主催者側二人の挨拶のあと、都議会副議長をはじめ、都議会各党代表から「幼児教育の重要性」は十二分に承知しています。その児童教育をしっかりと支えて頂き感謝します。都議会としても皆さまの意見を傾聴し、子どもたちが心身ともに健全に

成長していくよう、児童環境の整備に全力を尽くす」とお約束します」と心強い決意を披露してくださいました。続く石井私学部長からも、「皆さまの子どもたちへの熱い気持ちは都議会の先生方に必ずお伝えし、「こゝに添うべく力を尽くします」という言葉をいただきました。

式典のあと、江戸東京博物館館長・竹内誠先生のテーマ『江戸の子育て』の講演がありました。

江戸時代は子どもの天国だったことや、子どもの軌道は地域ぐるみで行っていたことなど、子どもたちの天真爛漫な姿や往時の親子関係などが時空を超えて想像される素晴らしいお話をした(要旨参照)。

幕末の資料などによると、江戸時代は子どもが大切に養育されていました」とが記されています。モースの『日本その日その日』には「世界中に日本ほど赤ん坊のために尽くす国はない(中略)彼らは如何にも甘やかされて増長してしまいそうであるが、而も世界中で両親を敬愛し、老年者を尊敬すること日本の子どもに如くはない。(中略)これは日本人に深く浸み込んだ特性である」と記録されています。エンソソン『江戸幕末滞在記』にも親の仕事をよく手伝い、下の子の子守りをしながら通りで遊ぶ子どもたちの様子が書かれています。

3月11日は歴史的に見ても日本の転換点になるのではないかということがあります。あれほどのひどい自然災害で、水や食料が不足したにもかかわらず、日本人は整然と列をなし、順番に救援物資を受け取り、略奪や奪い合いはどこにも見られませんでした。日本人に備わっている秩序感・礼節を貴ぶ姿勢がここに現れたのです。」

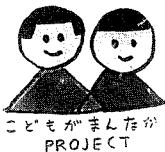
講演
テーマ 「江戸の子育て」
講師 竹内 誠 先生 (江戸東京博物館館長)

歴史学者の竹内先生が始まにおつしやったのは、「平成23年3月11日は歴史的に見ても日本の転換点になるのではないか」ということでした。

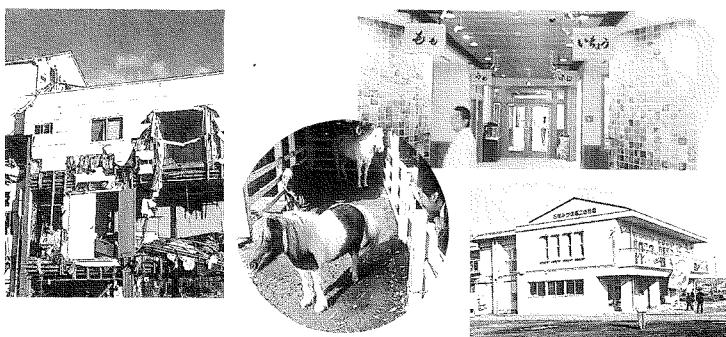
江戸時代は自然との共生、物との共生、人との共生のスローガンでした。自然との共生では農業を中心四季の移り変わりに合わせて、ゆっくり生活していました。物との共生では、タンスやくしなど、指物師が職人技を駆使して作った素晴らしい芸術品を日常的に使い、古くなつても捨てずに手を入れて作り直し、物をまた使い込むというように、物を

平成23年11月10日／私学会館

「第20回都私幼P連大会／全日本私幼P連地区協議大会」開く!!



広報副委員長・池田文子
(五ノ神幼・羽村市)



東日本大震災から8カ月。仙台にて行われた11月11・12日の後継者交流宿泊研修会に参加するにあたり、様々な思いがありました。4月下旬に女川町で被災した友人を訪ね、石巻・女川など被災地の様子

を見てきました。その時、あまりに残酷な光景にショックを受け、今では、目を背けてはいけないと思いながら、どこかで気持ちの外に置いていたような気がしていました。

仙台市泉区にある、明泉幼稚園の素晴らしい施設を拝見し、迅速かつ的確な震災対応により、大きな被害なく乗り越えた話を聞きました。その後、津波の被害にあつた石巻市のみずほ第二幼稚園を訪ねた際に見た、震災後8カ月の現状。参加した先生方の表情が一気に入陥りくなつたのがわかりました。園舎の中を見学すると、津波の被害にあつた保育室、地震のあつた時間に止まつている時計。あまりのショックに2階に上がることができず、外に出てしましました。しかしこれが現実であることをしつかりと受け止め、命を守る厳しさを学び、今後に生かしていくなければいけないといました。2階に上がるごとに、卒園式の装飾がしてあるままのホールに、テ

ブルには必死さを物語る、ビニ

（府中白糸台幼稚園
平田嘉史
・府中市）

「後継者交流宿泊研修会」

平成23年11月11日・12日／仙台市

を見てきました。その時、あまりに残酷な光景にショックを受け、今では、目を背けてはいけないと思いながら、どこかで気持ちの外に置いていたような気がしていました。

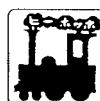
仙台市泉区にある、明泉幼稚園の素晴らしい施設を拝見し、迅速かつ的確な震災対応により、大きな被害なく乗り越えた話を聞きました。その後、津波の被害にあつた石巻市のみずほ第二幼稚園を訪ねた際に見た、震災後8カ月の現状。参加した先生方の表情が一気に入陥りくなつたのがわかりました。園舎の中を見学すると、津波の被害にあつた保育室、地震のあつた時間に止まつている時計。あまりのショックに2階に上がることができず、外に出てしましました。しかしこれが現実であることをしつかりと受け止め、命を守る厳しさを学び、今後に生かしていくければいけないといました。2階に上がるごとに、卒園式の装飾がしてあるままのホールに、テ

ブルには必死さを物語る、ビニ

ユニチカ・ニッケ・東レ 園児服・園帽・体育着



御一報次第カタログ進呈



ビーポップ印 園服・園帽・トレーニングウェア・カバン製造元
株式会社 成増園服研究所
東京都板橋区大山金井町43-1 TEL(03)3957-2176㈹

「私学振興予算要望期成大会」開催!!

平成24年度

平成23年11月22日／共立講堂

東京私立中学高等学校協会、同父母の会連合会、東京都私立幼稚園連合会、東京私立A連合会の6団体は11月22日、一つ橋の共立講堂に民主・自民・公明・共産の東京都議会各会派を代表する先生方並びに東京都生活文部・石井玲子私学部長をお迎えし、会場には全都から1800余名の保護者や教員が参加して、平成24年度の私学予算の継続・拡充をお願いしました。

べたあと、都議会側から「子どもは未来からの贈り物」「教育は社会のために非ず、教育のために社会はある」「政治の顔は予算に現れる」等、交々教育の重要性を述べました。これまで要求してきました。24年度は前年度より更にアップすべく全会派が協力して皆さんの熱い願いにお応えすることをお約束します」と力強い決意を頂きました。

最後に、大会決議（案）を満場の拍手で採択し、期成大会を締めくくりました。

第2回教諭研修会（免許更新講習）

「5歳児の育ち」～まなびと学びをつなぐ～

平成23年11月2日／私学会館

【講師】小林 紀子（青山学院大学教育学科教授）



吉や倉橋惣三の保育理論からもわかるように、遊びや生活の中で子どもが自発的に必要性を感じて、まなぶことが大切のことでした。

後半は、「まなび」を保障するために必要なポイントを三つ、ビデオを見ながら具体的に説明されました。

一つめは、「まなび」の読み取りです。教師が、子どもの行動を見て、その子どもが何をまなびたのかを、読み取ることの大切とのことでした。二つめは、「まなび」を読み取り、どのように援助するかです。「だわりが強くなかなか一歩を踏み出せない子どもを例にあげ、どのような環境を用意し、どのような援助をしたのか説明されました。また、幼稚園の相互的生活中には、多様なまなびの機会があることを強調されました。三つめとして、長児である5歳児にスポットを当てて行われ、多くの方が出席されました。内容は主に、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続の在り方についてお話しいただきました。

研修会の前半では、幼稚園は小学校を意識し過ぎ、結果を重視した「教え」を行うのではなく、遊びや生活の中を通して「まなび」を保障することが必要と説明されました。

また、幼稚教育の歴史にも触れ、東基

本委員・村瀬光大
(浅間幼・江戸川区)

吉や倉橋惣三の保育理論からもわかるように、遊びや生活の中で子どもが自発的に必要性を感じて、まなぶことが大切のことでした。

後半は、「まなび」を保障するために必要なポイントを三つ、ビデオを見ながら具体的に説明されました。

一つめは、「まなび」の読み取りです。教師が、子どもの行動を見て、その子どもが何をまなびたのかを、読み取ることの大切とのことでした。二つめは、「まなび」を読み取り、どのように援助するかです。「だわりが強くなかなか一歩を踏み出せない子どもを例にあげ、どのような環境を用意し、どのような援助をしたのか説明されました。また、幼稚園の相互的生活中には、多様なまなびの機会があることを強調されました。三つめとして、長児である5歳児にスポットを当てて行わわれ、多くの方が出席されました。内容は主に、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続の在り方についてお話ししていただきました。

研修会の前半では、幼稚園は小学校を意識し過ぎ、結果を重視した「教え」を行

うのではなく、遊びや生活の中を通して「まなび」を保障することが必要と説明さ

れました。

また、幼稚教育の歴史にも触れ、東基

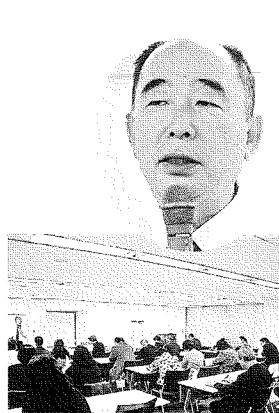
本委員・村瀬光大
(浅間幼・江戸川区)

個人立園研修会

平成23年11月21日／東京都私学財団

「子ども・子育て新システムについて」

【講師】田中 雅道先生（全日本私立幼稚園教育研究機構理事長）



価を設定して、その中の不足分を市町村で補填してゆくという考え方であり、これまで市町村ごとに実施されてきました。

* 施設の類型は幼稚園、総合施設、保育所の三元体制となる。総合施設によるには法人格が必須の要件であるが、個人立園の問題があり検討中。また個人立園が総合施設になった場合、相続税非課税制度については総合施設に相続税非課税制度が引き継がれるかどうか決まっていない。

* 子ども園制度の未解決問題点（10月18日政府案）消費税上げて7000億円を子どものために使うといつていうが財源が確保できるのか。

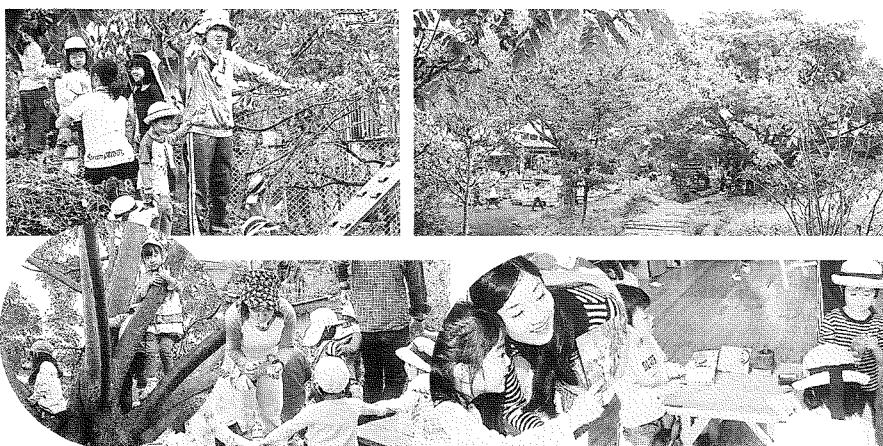
* 子ども園指定と総合施設認可、駅前保育所などの設置基準に合わないものに対する対応、国の最低基準を決めて各市町村で実行してほしい。

* 施設入所に関する応諾義務、保育教育論など、ようやく一つの免許のある呼称など、教育法第1条はどうなるか。

など、具体的な詳細は決まっていないのですが、法制度への方向性（民主党の指針）は動いています。

* 子ども園制度とは市町村レベルでの給付機能の一元化のことと、0歳から6歳の給付システムをひとつにして基準單

本委員・鈴木嘉一
(宝陽幼・杉並区)



開保育

中瀬幼稚園（杉並区）

（平成23年11月8日）

公開保育に参加して

門を一歩入ると、広い園庭に梅壇（せんだん）の大木や草花が咲き乱れていて、

田舎にきたような懐かしい気持ちになつた。親たちが、あちこちで草花の手入れや落ち葉掃きをしていたが、日常的だとのこと。

本日の保育は昨日の続きとのことで、

子どもたちは自然の中で思い思いで遊んだあと、年長組は昨日隣りの畑で掘つたサツマイモを庭の山の上からずらつと

並べて数えたり、焚き火にする木を常駐の大工さんに「曲がつてます」と言わながら、一生懸命に鋸で切つてはいる。年中組の1クラスは穴掘りをしていて、中から宝が出てきて大喜び。もう一方のクラスは、食べるためにお米の糊を手でむいている。年少は、フインガー・ペインティング。

それぞれに日常の流れの中で、今、この活動が必要と見極める保育者の意図を感じられる。今、子どもたちのしたいことは何だろうと考え、チャンスを逃さず臨機応変に活動への繋がりやねらいを持つて保育している中で、子どもたちは生き生きとやりたいことをやり、その中でいろいろと発見している様子がよくわかり、とても勉強になつた。

教育研究委員会専門委員
淡島道子

（木内鳩の家幼稚園・北区）

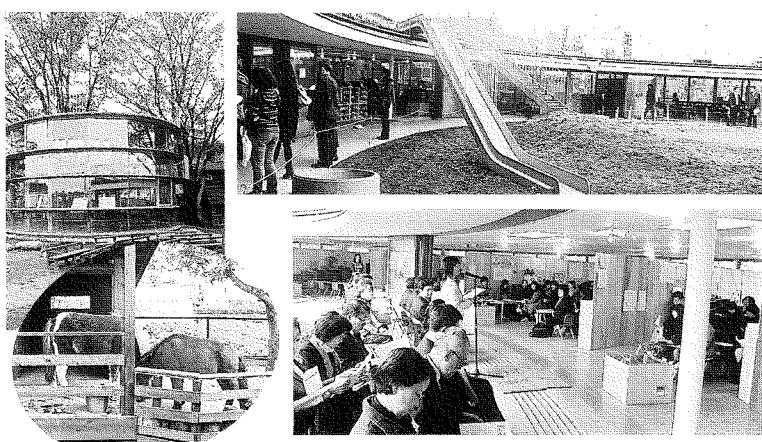
公私合同開保育

藤幼稚園（立川市）

（平成23年11月18日）

幼稚教育に関わる者として以前から一度は訪れたかった立川・藤幼稚園でしたが、実際に施設及び保育を見学させていただいた時の衝撃は想像以上のものでした。まずは園舎、写真や映像では拝見したことがありましたが実際の当たりにした園舎はおよそ幼稚園の概念を超えたものでした。楕円形と

一度は訪れたかった立川・藤幼稚園でしたが、実際に施設及び保育を見学させていただいた時の衝撃は想像以上のものでした。まずは園舎、写真や映像では拝見したことがありましたが実際の当たりにした園舎はおよそ幼稚園の概念を超えたものでした。楕円形と



開保育

藤幼稚園（立川市）

（平成23年11月18日）

私学には様々な考え方や形があります。これが正解というものはありませんが、目的は一つ、子どものより良い成長です。そしてそれを実現するためにはしっかりと理解し実践している先生方の存在でした。

私が学んだことは、これが正解というものはありませんが、目的は一つ、子どものより良い成長です。そしてそれを実現するためにはしっかりと理解し実践する教職員が必要です。当たり前のことかも知れませんが、そんな基本的なことを再認識させられた一日となりました。

粕谷衛
(清瀬たから幼稚園主事・清瀬市)

をやります。園によつてはお相撲さんなどに来て頂いて催すのですが、子どもたちはその日を楽しみに待ちます。実は、きょう一緒に伺つた坂田先生（竹塚幼稚園園長・足立区）も昨年暮れに同じ地域のよしみで、こちらの部屋にお願いして若いお相撲さんに来て頂いて餅つき大会をしたのですが、その礼儀正しさにとても感心したそうです。

志賀 それは恐れ入ります。
そんなに言われるほどのことはしていませんが、何と言つても中学を卒業したばかりの子をお預かりするケースが多いものですから親御さんたちに「玉ノ井部屋に預けて良かった」と喜ばれるような相撲取りに育てたいと心掛けております。ですから、「うちのおかみはだらしがない」なんて言われないように自らを律して身を

「若おかみ」がおりますので。来年の2月には私は「おばあちゃん」になる予定なんですよ。

——それはおめでとうございます。男のお子さんであれば、立派な三代目になれる」とでしょう。男の子が生まれるといいですね。ところで、先ほど若い新弟子をお預かりするというお話をでしたが、中学生くらいですといろいろ気苦労がおありでしょ

る子もいますしね。私は稽古場にはあまり顔を出しませんが、稽古場から出てくる子の顔を見れば、今どんな気持ちでいるか体の見当はつきます。だから、慣れるまでは彼等と一緒に食事をしますし、着るものにも目配りしながら絶えず細かい心遣いをしていかなければなりません。

「こ鍋」はないから、どこか夕食にあの子を誘つてあげてね」と、お小遣いを持たせてやるなどしています。まあ、大変と言えば大変ですけど、どこの部屋でも同じじうなものだと思います。

——稽古は何時くらいから始めるのですか？

「おかみ」は
弟子たちの母親代わり

儀作法を身に付けさせるのは「おかみさん」の育て方にあるのではないか、そんな話を聞かされましたので、私ども幼稚園の新任教員育成などの参考にして頂ければ…そう思つて参りました。

——では、「おかみさん」とお呼びしてよろしいのでしょうか？
志賀 今は「おおおかみ」でございます。二代目親方（元大関・柄東）に嫁いで2年になるだけですよ。

では、健康面はもちろんですが、私生活の面でも常にフオローリーなればなりません。生まれ育つた環境がまったく違う者同士が入門したその日から兄弟子たちと一つ屋根の下で生活するので、すから、中にはホームシックにな

りますでしょ。それが分かれば彼らを理解できますから、その子への対応の仕方も分かつてきます。

「厳しさと優しさ」「はじめと自由」このバランスが育てる「ツ



相撲「玉ノ井部屋」初代女将

志賀 千夏 (しが ちなつ) さん

1942(昭和17)年3月生まれ。
1961(昭和36)年、郡山美容専門学校
卒業。五井部屋初代右将に就く。

志賀 母親代わりのようなんのですから、細やかな気配りは欠かせませんね。何しろ、やつと15歳の子をお預かりするのですから、相撲の世界ですから先ず健康が第一です。

が、新弟子の二七は稽古して
食べて、寝て、また稽古して食べ
て寝る……こうした繰り返しだけで
相撲さんらしい体作りをしてい
きますので、初めのうちは部屋の
中で過ごすことが殆どなんです。
ですから稽古の合間には、兄弟

志賀 朝は6時くらいからです。30分ほど準備体操してから稽古に入ります。相撲界はいろ

いろいろ面で厳しいように言われますが、決してそうではありません。稽古のあとは、かなり自由です。そりやあ稽古の厳しさはありませんが、強くなるための修業ですし、人間としての修養の場でもありますから…。昔はどうだったか分かりませんが、この頃はお相撲さんもお正月にはそれぞれの故郷に帰る人もいます。ただ1月は場所の関係でそののんびりはできませんが、かなり自由に過ごしています。

「寝る」とも大事な修行です。でも、中には何杯もお代わりできない子もあります。それなりに体重は増えていくのですが、太れない子もいます。だから「何杯食べた?」「3杯」「私が子どもの頃は、混ぜご飯だと3杯は平気で食べたわよ。あなたは若いんだからまだ食べられるはずよ」そう言って食べさせます。立派なお相撲さんは育てるためにはやむを得ないことがあります。汁が嫌であれば卵かけや納豆など、その子の好みそうなもので食べさせます。

本るためには大食でなければなりませんし、それには胃袋を大きくさせなければなりません。常にお相撲さんは、稽古が終われば『昼寝』をします。先ほども言いましたように、食べること、寝ること、稽古すること、稽古する」と、でお相撲さんらしい体を作つて行かなければなりません。特に「食べさせる」ことには気を使います。「何杯食べた?」と聞くのが挨拶みたいで笑い)。

胃の中に入つていて、胃袋は大きくなっていますので、間食でも何でも食べさせることができます。20歳を過ぎると胃が決まつてきますから、15、16歳くらいのうちにどんどん食べさせて胃袋を大きくさせることが先決です。それも「おかみ」の大変な仕事なんですよ。

「食べて」「寝る」の「が 体づくりの基本

にはたくさん食べられないお弟子さんもいるのです?

志賀

いますよ。『覧のようにお相撲さんは大きく、そして太らないといけません。「食べさせて寝かせる」とことで太らせる。そして厳しい「稽古」によってがつしりした強いからだを作つていくわけです。ですから「食べる」とも

「寝る」とも大事な修行です。

でも、中には何杯もお代わりで

きます。例えば、幕下以上になれば博多帯とか絹物の帯を締められるのですが、それ以下の者は締められません「玉ノ井部屋」は創設して22~23年になりますが、当

時は若い弟子の帯は全部私が縫つていました。弟子7人でスター

トし、翌年には10人に、その後には20人と増え、いつて一時的な部屋ではありませんので大変

いうほどではありませんが、何

て20数名というところです。大き

な部屋ではありませんので大変

からねえ(笑い)。帯一本縫うの

もちよつとした労力が要ります

した。浴衣の綻びを縫つたりもしま

した。そうしたことが、なんて言

うんでしようか、何か頼れるとい

うか、身内のような情が湧いてく

るのでしょう。そういう中でも

「弟子」と「おかみ」というはじめ

く者もいます。でも、人は誰でも

良いところを持つているものです。

それを褒めるのも私の役目だと

思っています。毎年10月になる

と「玉ノ井祭り」という行事があ

ります。その時「もちつき」をやる

のですが、すごく「捏ねる」のが上

手な子がいました。相撲は下手

なので「あなた、捏ねるのが上手

ねえ。そのコツが土俵で出れば勝

つわよ」とか、「あなたは『すり足』

がとても良いって、親方が言つて

いたわ」とか、ちよつとした言葉

をかけてあげるのも励みになるよ

うです。

相撲界は男の世界ですから、

部屋の空気を和らげるのも『おふくろさん』的な役割に徹する「お

りましたが、脳梗塞を起こして引退しましたけど、現役時代は

あくまで母子ではなく「おかみ」と

「弟子」であるという言動を崩しませんでした。それほど、上下の

関係は厳然として相撲界にはあ

りますね。

「寝めて」「伸ばす」の「おかみ」の大変な仕事

——スポーツの世界では上下関係が厳しい面はありますが、とりわけ角界という歴史の重みを感じます。耐えきれずに部屋を去つていくお弟子さんもいた

——ありがとうございました。

★インタビューリポート委員長・

田澤 茂(東一の江幼・江戸川区)

——ありがとうございました。

私の息子、二代目親方の話

で恐縮ですが、九州場所でプロ

に合格して以来、序の口、序二

段、三段目、幕下、十両、幕内

と各段優勝を果たしました。こ

の記録は双葉山と一人だけ。未

だに破られてはいません。そんな

息子でしたが、親方と弟子とい

うじめの中で稽古は厳しかつ

たですし、自由時間で他の弟子

たちがテレビを見たり、昼寝をし

ている時も寸暇を惜しんで稽古

しないといけません。「食べさせて

寝かせる」とことで太らせる。そし

て厳しい「稽古」によつてがつしり

した強いからだを作つていくわけ

です。ですから「食べる」とも

一般的社会のそれとは違うと思い

ます。例え、幕下以上になれば

博多帯とか絹物の帯を締められ

るのですが、それ以下の者は締め

られません「玉ノ井部屋」は創設

して22~23年になりますが、当

かみ」の大変な仕事です。もちろん怒るときはビシッ!と怒りますよ。「おかみさんは怖いけど優しい」そう思われなければと思つています。それと同時に「有難うござんね」「お願いね」、そんな言葉が気持ちよく言い交わせる雰囲気作りも大切だと思いながら「おおおかみ」をやつています。これつて、どんな業界でも通用する大事なことですね。

「おおおかみ」をやつています。これが、どんな業界でも通用する大事なことですね。

りましたが、脳梗塞を起こして引退しましたけど、現役時代は

あくまで母子ではなく「おかみ」と

「弟子」であるという言動を崩し

ませんでした。それほど、上下の

関係は厳然として相撲界にはあ

りますね。

——ありがとうございました。

★インタビューリポート委員長・

田澤 茂(東一の江幼・江戸川区)

——ありがとうございました。

私の息子、二代目親方の話

で恐縮ですが、九州場所でプロ

に合格して以来、序の口、序二

段、三段目、幕下、十両、幕内

と各段優勝を果たしました。こ

の記録は双葉山と一人だけ。未

だに破られてはいません。そんな

息子でしたが、親方と弟子とい

うじめの中で稽古は厳しかつ

たですし、自由時間で他の弟子

たちがテレビを見たり、昼寝をし

ている時も寸暇を惜しんで稽古

しないといけません。「食べさせて

寝かせる」とことで太らせる。そし

て厳しい「稽古」によつてがつしり

した強いからだを作つていくわけ

です。ですから「食べる」とも

一般的社会のそれとは違うと思い

ます。例え、幕下以上になれば

博多帯とか絹物の帯を締められ

るのですが、それ以下の者は締め

られません「玉ノ井部屋」は創設

して22~23年になりますが、当

いろな面で厳しいように言われ

ますが、決してそうではありません。

稽古のあとは、かなり自由で

すよ。そりやあ稽古の厳しさはあ

りますが、強くなるための修業で

すし、人間としての修養の場で

ありますから…。昔はどうだつ

たか分かりませんが、この頃はお

相撲さんもお正月にはそれぞれ

の故郷に帰る人もいます。ただ1

月は場所の関係でそののんびり

はできませんが、かなり自由に過

ごしています。

お相撲さんは、稽古が終われば

『昼寝』をします。先ほども言

いましたように、食べること、寝ること、稽古すること、稽古する」と、でお相撲さん

は大きくなりません。特に「食べさせる」ことには気を使います。「何杯食べた?」と聞くのが挨拶みたいで笑い)。

お相撲部屋の『おかみさん』

は大変だろうと想像してはいま

したが、心も体も休まる暇もない

みたいですね。番付など序列によるけじめも厳しいのでしょうかね。

——相撲部屋の『おかみさん』

は大変だよと想像してはいま

したが、心も体も休まる暇もな

いみたいですね。番付など序列

によるけじめも厳しいのでしょうかね。

——入門したばかりですが、中

にはたくさん食べられないお弟子さんもいるのです?

いますよ。『覧のようにお相撲さんは大きく、そして太らないといけません。「食べさせて寝かせる」とことで太らせる。そして厳しい「稽古」によつてがつしりした強いからだを作つていくわけです。ですから「食べる」とも

一般的社会のそれとは違うと思い

ます。例え、幕下以上になれば

博多帯とか絹物の帯を締められ

るのですが、それ以下の者は締め

られません「玉ノ井部屋」は創設

して22~23年になりますが、当

りましたが、脳梗塞を起こして引退しましたけど、現役時代はあくまで母子ではなく「おかみ」と

「弟子」であるという言動を崩しました。それほど、上下の

関係は厳然として相撲界にはありますね。

——ありがとうございました。

私の息子、二代目親方の話

で恐縮ですが、九州場所でプロ

に合格して以来、序の口、序二

段、三段目、幕下、十両、幕内

と各段優勝を果たしました。こ

の記録は双葉山と一人だけ。未

だに破られてはいません。そんな

息子でしたが、親方と弟子とい

うじめの中で稽古は厳しかつ

たですし、自由時間で他の弟子

たちがテレビを見たり、昼寝をし

ている時も寸暇を惜しんで稽古

しないといけません。「食べさせて

寝かせる」とことで太らせる。そし

て厳しい「稽古」によつてがつしり

した強いからだを作つていくわけ

です。ですから「食べる」とも

一般的社会のそれとは違うと思い

ます。例え、幕下以上になれば

博多帯とか絹物の帯を締められ

るのですが、それ以下の者は締め

られません「玉ノ井部屋」は創設

して22~23年になりますが、当

りましたが、脳梗塞を起こして引退

しましたけど、現役時代はあくまで母子ではなく「おかみ」と

「弟子」であるという言動を崩

しました。それほど、上下の

関係は厳然として相撲界にはあ

りますね。

——ありがとうございました。

私の息子、二代目親方の話

で恐縮ですが、九州場所でプロ

に合格して以来、序の口、序二

段、三段目、幕下、十両、幕内

と各段優勝を果たしました。こ

の記録は双葉山と一人だけ。未

だに破られてはいません。そんな

息子でしたが、親方と弟子とい

うじめの中で稽古は厳しかつ

たですし、自由時間で他の弟子

たちがテレビを見たり、昼寝をし

ている時も寸暇を惜しんで稽古

しないといけません。「食べさせて

寝かせる」とことで太らせる。そし

て厳しい「稽古」によつてがつしり

した強いからだを作つていくわけ

です。ですから「食べる」とも

一般的社会のそれとは違うと思い

ます。例え、幕下以上になれば

博多帯とか絹物の帯を締められ

るのですが、それ以下の者は締め

られません「玉ノ井部屋」は創設

して22~23年になりますが、当

りましたが、脳梗塞を起こして引退

しましたけど、現役時代はあくまで母子ではなく「おかみ」と

「弟子」であるという言動を崩

しました。それほど、上下の

関係は厳然として相撲界にはあ

りますね。

都私幼連の動き

〔11月〕

- 11／2 ②★教諭研修会（小林紀子）（免許更新）

11／4 都私幼連・都私幼研中間会計監査

11／8 公開保育（中瀬幼稚園・杉並区）

11／9 正副会長会、常任理事会、理事会、
(社)理事会
夏休み帳編集会議
学法協議会運営委員会

11／10 P連大会
⑦幼稚園教育研究会

11／11 (金)～12(土)
後継者交流会宿泊研修会（仙台市）

11／14 P連編集会議

11／15 経営研修会
教育研究委員会

11／18 公私合同公開保育
（私立藤幼稚園（立川市））

11／21 個人立園研修会・全体会
（私学財団会議室）

11／22 参加型公開保育（免許更新）
（武藏野大学附属幼稚園・西東京市）

*私学助成予算要望期成大会（共立講堂）

11／24 広報委員会

11／30 公私合同公開保育（文京区立根津幼稚園）
総務委員会

[今月]

- 12／1 参加型公開保育（免許更新）
(宝仙学園幼稚園・中野区)
*全日私幼P連全国大会

12／6 学法協議会運営委員会
学校法人立園研修会（小倉千加子）

12／7 ③★教諭研修会（兵頭恵子）(免許更新)

12／8 地区長会・懇親会
⑧幼稚園教育研究会

12／13 経営実態調査担当小委員会

12／14 ④★教諭研修会（青木久子）
(免許更新・試験)

12／16 公開保育（福田幼稚園・渋谷区）
経営研究委員会

12／20 夏休み帳編集会議

12／26 広報委員会

12／26～27 *全日私幼免許更新講習(必修)

保護者と園が協同で保育を

江戸川こぎくら幼稚園(江戸川区)

教 諭 望月 稔也

保育者として、園と保護者が協力して子どもを育てていくということを当然のことと思っている。園だけでは限界があるので、年に数度の保護者会やクラス便りなどを通じて伝えてはいるが、最近はなかなかそうもいかない。園としては園でできることを担って保育をし、家庭でしかできないことは保護者にお願いせざるを得ない。しかし、なかなか要望を聞き入れなかつたり、実行しない保護者が増えているように最近は感じる。数年前の親に比べたら「協力して育てる」という意識を持つ親が格段に減ったような気がする。家庭からの要望は言ってくるが、園からの要望は聞く耳持たず、という保護者も少なからずいる。最近では、自分の言ったことが一方的に受け入れられるという意識が保護者にも根付いてきているのでは…、と感じる。

近頃テレビを観ていると「～させていただいております」という言葉を耳にする。お客様主体ということを強調したいのだろうが、教育機関にまでお客様意識を助長しているのではないか…、と心配している。子どもたちによりよい成長を促すためには保育者と保護者が一方的ではなく、相互に協力したり情報を共有して育てていかなくてはいけないと思うが、最近のお客様意識というのはなかなか厄介で、難しいと感じている。

教育というのは家庭と教育機関があり、それぞれが協力して子育てをしていく、ということを理解して欲しいし、幼稚園でも保護者を教育していく必要があると最近ますます思うところである。



◆列島が震えた2011年も残すところわずかとなりました。公園の木々も紅葉色に染まり、冬が近いことを知させてくれています◆でも、今年の紅葉は少し物悲しそうです。ある幼稚園では、恒例の「落ち葉ブル」を取り止めたとか。その楽しさを知り、待ち望んでいた子どもたちは悲しい思いをしたことでしょう。もとより、理由は放射能汚染によるもの。原発事故がまき散らした汚染は、子どもたちの楽しみまで取り上げてしまいました◆この時期になると、インフルエンザや感染症胃腸炎の注意が必要です。季節ごとに流行する病気はいろいろあります。が、今年は夏に「手足口病」、秋から続く「マイコプラズマ肺炎」など、患者の数は例年よりも多いそうです◆集団で生活している子どもたちは、しつかりと「手洗い」「うがい」をして、感染には気を付けて欲しいのですね。（坂田）

